

欠席委員からの確認事項

＜遠藤委員＞

1. 吸水人孔によって浸出水を排出する事と思いますが、受入品目等によってはカルシウムスケールが形成され、設計時の集排水能力を満足しなくなる可能性もあると思いますが、何か事前に考慮して設計されておりますでしょうか。
2. ゲリラ豪雨に対する対策の具体的な数値、例えば7000 m³の原水槽で近年のゲリラ豪雨に対応しているという計算を示して頂けますでしょうか。
3. 周辺の地下水位はどの程度でしょうか。処分場の建設時の揚圧や将来的な地下水集排水管から排出される水量等に関係するための質問です。季節変動込みの情報があればお示し下さい。
4. 遮水シート間にベントナイト混合土を入れた理由はなぜでしょうか（なぜ二重遮水シートの下ではないのか）。一枚目の遮水シート敷設後、不織布1枚のみでベントナイト混合土の動的締固めを実施することになると思いますが、遮水シートへの動的荷重負荷について、どのようにお考えでしょうか。
5. 地下水モニタリング時に電気伝導率を検出した場合等、何かしらの漏洩が疑われる場合、地下水集排水管の排水口を浸出水処理施設へと切り替える等、フェイルセーフ的な考えはお持ちでしょうか。そうでない場合、どのような対策を考えておりますでしょうか。
6. 放流水の上乗せ基準は、設置許可申請時の管理数値として設定されたものでしょうか。つまり、廃止確認申請はこの数値で行うのでしょうか。それとも、維持管理期間中のみの努力目標値でしょうか。もし、前者の場合、本上乗せ基準によって廃止が困難になる可能性があると思いますが、受入廃棄物管理や、埋立方法等によって、上乗せ基準を満足させるような取組をお考えであれば教えてください。
7. 第三セクターとして、県内の他の民間産業廃棄物処分場のお手本となるような維持管理等の目標はございますでしょうか。
8. 最終処分場の長期的な安定性において基盤の地盤改良は非常に重要で有意義と考えられます。沈下予防を目的とされていると思いますが、地盤改良によってどの程度の改善効果が見込まれますでしょうか。また、地盤改良工事自体の詳細についても併せてお示し頂ければと思います。なお、隣接する一廃処分場の沈下情報等はございますでしょうか。一廃施設の沈下の影響は受けないと考えてよろしいでしょうか。

以上です。